



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2019 **2** 月号  
Vol.96  
毎月1回発行(通巻96号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.JMMPA.jp/

一日・短時間で現場に必要な真の実践力を磨く!

## 「医療経営士 実践研究講座」スタート 当協会がカリキュラムを認定 6月開講!

当協会では、医療経営士の専門性を高めるための継続学習の場として、「医療経営士実践研究講座」のカリキュラムを策定。まず、ヘルスケア経営学院(株)日本医療企画)にて本年6月に開講する。4月予定の受講者募集開始に向けて、本講座の特徴や概要を紹介する。

### 双方向型の受講スタイル 業務課題を効果的に解決

「医療経営士実践研究講座」は、医療経営士をはじめとする医療機関の経営人材や看護師・薬剤師等のメディカルスタッフが、院内の各部門において効率的かつ正確に業務を遂行するために必要な真の実践力を身につけることを目的としている。医療経営士・医療経営指導士ら現場の第一線で活躍する専門家が講師を務め、多忙な医療機関職員でも受講しやすいよう、専門的な知識や実務のノウハウを「一日特訓講座」(5~8時間)、「短時間集中講座」(2~4時間)で学べるのが特徴だ。

各講座は定員を35人に限定。少人数のメリットを活かし、講師と受講者が白熱したディスカッション、グループワークを行う受講スタイルを取り入れることで、実務の疑問や課題に対する最も効果的な解決策を導き出すべく。

### より高い専門性を持った 医療経営士を育成!

医療法人社団永生会理事長の

安藤高夫氏、社会医療法人財団董仙会理事長の神野正博氏、中央大学ビジネススクール大学院戦略経営研究科教授の真野俊樹氏がカリキュラムコーディネーターを務め、当協会が認定した講座は、医療機関の全部門を対象とする「総合経営コース」、事務部門を対象とする「経営企画コース」「地域医療連携コース」「人事・総務コース」「財務・経理コース」「広報・マーケティングコース」などに分かれており、受講者は受講したい講座を1科目から選択できる。現在、講師が決定している主な講座は下表のとおりだ。

ヘルスケア経営学院では、6月の開講に向けて特設サイトを準備中で、カリキュラムの全体像や募集受付などに関する詳細は順次、同サイトで公開していく。正会員数が1万人を超え、医療界から高い注目を集める医療経営士は、これまで以上にその資質や専門性が問われている。たくさんの方の医療経営士がこうした講座を活用し、現場の課題解決に必要な実践力や専門性を身につけていただくとことを期待したい。

## 「医療経営士実践研究講座」受講者募集!

- 認定 ..... 一般社団法人日本医療経営実践協会
- 主催・運営 ..... ヘルスケア経営学院
- 会場 ..... ニッテン神田ビル3Fセミナールーム  
(東京都千代田区神田東松下町17)
- 定員 ..... 各講座35名
- 入学金・受講料(税込)

「一日 特訓講座」(5~8時間程度、昼食付)	
入学金	医療経営士:無料/ 一般:1万円(2019年9月までは無料)
受講料	医療経営士:4万円/一般:5万円
「短時間 集中講座」(2~4時間程度)	
入学金	なし
受講料	医療経営士:1万5,000円/一般:2万円

※「一日 特訓講座」の受講者には修了証を発行します ※割引制度有

### ■講座カリキュラム(一部抜粋)

全部門/総合経営コース	
▶実践研究!「最新医療経営の情報分析と実践手法」	長英一郎氏(東日本税理士法人代表社員・所長)
▶実践研究!「他職種からの病院事務長養成講座 -セカンドキャリアとして医療機関で働く人のためのグループワーク」	小川卓氏(医療法人財団献心会川越胃腸病院総務部長)
看護・医療技術部門/メディカルスタッフ・マネジメントコース	
▶研究!「医療専門職のリーダーシップと部門マネジメント」	山崎真一氏(東海大学医学部付属八王子病院 診療技術部臨床検査技術科係長)
▶実践研究!「看護部門のマネジメント」	木村由起子氏(社会医療法人社団順江会介護老人保健施設 かがやきライフ江東療養部長)
事務部門/経営企画コース	
▶実践研究!「地域包括ケアシステム」	網代祐介氏(社会医療法人社団光仁会第一病院医療福祉連携室長)
▶研究!「診療所グループの経営戦略/経営改革」	横田泰洋氏(こひつじ会グループ経営戦略室室長兼 医療法人社団小羊会医療本部室長)
事務部門/財務・経理コース	
▶実践研究!「資金計画・管理、資金調達」	中村祐介氏(TOMAコンサルタンツグループヘルスケア事業部副部長)

2018年12月25日(火)に第6回「医療経営士1級」資格認定試験の合格者が発表された。同年9月9日(日)実施の第一次試験(短文記述形式10題+論文記述形式2題)では受験者53人中15人が合格(合格率28.3%)し、続く12月2日(日)実施の第二次試験(プレゼンテーション+口頭試問)では受験者15人中11人が合格(合格率73.3%)した。難関試験を突破し、見事合格を果たした11人に受験後の感想と新年の抱負を語っていただいた。

### 第6回1級試験DATA

第1~6回試験までの累計合格者数は65人(男性58人、女性7人)。合格者数や合格率の推移、年齢別構成、勤務先別構成は表のとおりである。第6回の第一次試験は過去最高の53人が受験した一方で、合格率は過去最低の28.3%となった。

#### ●受験者数・合格者数・合格率の推移

試験回	受験者数	合格者数	合格率
第1回(第一次試験)	18人	8人	44.4%
第1回(第二次試験)	8人	7人	87.5%
第2回(第一次試験)	19人	10人	52.6%
第2回(第二次試験)	10人	10人	100.0%
第3回(第一次試験)	26人	11人	42.3%
第3回(第二次試験)	11人	11人	100.0%
第4回(第一次試験)	26人	12人	46.2%
第4回(第二次試験)	12人	11人	91.7%
第5回(第一次試験)	43人	20人	46.5%
第5回(第二次試験)	20人	15人	75.0%
第6回(第一次試験)	53人	15人	28.3%
第6回(第二次試験)	15人	11人	73.3%

#### ●合格者の年齢別構成

年齢	第6回	第1~6回累計
30代	2人	27人
40代	7人	23人
50代	1人	13人
60代以上	1人	2人

#### ●合格者の勤務先別構成

勤務先	第6回	第1~6回累計
病医院	5人	33人
医療関連企業	0人	11人
医薬品製造販売・卸売	4人	4人
金融機関	1人	7人
その他(士業等)	1人	10人

※年齢・勤務先は受験時のものです



#### 医療関係者から得た多くの刺激が資格取得の一番の成果

柴田和典さん

武田薬品工業株式会社  
JPBUスペシャルティビジネスユニット  
営業統括部 営業推進マネジャー

この分野について体系的な学び直しが必要であり、現場に即した実践力を身につけたいと思いチャレンジしました。間接的ではあるものの「患者さん」に提供される医療に携わる者として、現場レベルでの問題発見解決力を高めるための良い機会になりました。

医療に携わる方々とのコミュニティができ、多くの刺激をいただけたことが一番の成果です。単なる知識やロジックを問われる試験ではなく、「患者さん」目線の行動が具体的にどう実践できるかという問題解決能力が求められます。

医療を取り巻く環境は、年々厳しさを増しており、一律の答えが出せない状況となっています。自身の立ち位置から、「患者さん」に貢献できる取り組みを継続・実践していきたいと思っています。



#### 伝わりやすい分析データで法人の課題を見える化する

田中孝明さん

公益財団法人がん研究会  
IT推進部 部長

医療とまったく関係のない一般企業から縁あって現在の仕事に就くことになり、医療経営に関する体系的な知識を身につける必要性を感じ、医療経営士の資格取得に挑戦しようと考えました。

1級試験では、病院単体の経営だけでなく、国の医療政策や他の医療機関の動向等に関する知識を問われます。中長期的な観点から経営をとらえ、常にいろいろな情報に関心をもって多面的に勉強しておくことが大事だと感じました。

医療機関の経営は一人の力だけで進められるものではありません。課題解決に向けて経営層や関係職員に協力を得るためには、数字に基づく目標や分析データをわかりやすく見やすい資料で提示することが重要です。今後はそのようなスキルをさらに高めていきたいと考えています。



#### 地域包括ケアシステムにおいて製薬企業はどうあるべきか

本田茂樹さん

エーザイ株式会社  
アクセス&アウトカム本部推進部  
Senior Director

これまで通りのビジネスモデルで収益を上げ続けることができるのか、地域包括ケアシステムのなかでどのような貢献をしていくのか——。製薬企業はそのあり方を熟考すべき時期を迎えています。熟考するためには地域医療の変遷を正しく把握する必要があります。そうした知識を得ることを目的に1級受験を決意しました。

1級合格は医療経営の実務に携わったことがない方でも不可能ではありません。医療制度改革、特に診療報酬改定の影響や厚生行政の情報を理解しておくとういでしょう。

今後は、地域包括ケアシステムにおける製薬企業の役割、貢献できるビジネスモデルを検討しながら、次世代の製薬企業のあるべき姿を模索していきたいと考えています。



#### 新年の抱負は「知行合一」知識を実践に活かしたい!

松田行生さん

株式会社三菱UFJ銀行  
拠点部公共推進室(名古屋)  
医療・学校法人グループ調査役

銀行本部で医療セクターの業務推進を担当しています。お客様と経営課題を共有させていただくなかで、病院経営者をサポートする力をつけたいと考えていました。1級の人材像がその思いと一致していたことが受験の動機となりました。

1級試験は論文記述や口頭試問の形式であったため、病院マネジメントの現状と課題について千思万考する機会となりました。その成果として新たな医療経営の視点を得たことで、より真摯にお客様と向き合えるようになったと実感しています。

新年の抱負は「知行合一」です。知識を実践に活かし、期待を超えるクオリティでお客様の要望に応えるとともに、1級資格者として地域医療の維持・発展に貢献できるよう活動の場を広げたいと思います。



#### 自己啓発の一環として受験知識と実践思考の向上につなげる

和田晃明さん

武田薬品工業株式会社  
名古屋支店静岡営業所  
副営業所長

3級および2級の資格取得をきっかけに、医療制度に精通した社内外の方々と面談する機会が増えました。継続して業界紙や中医協資料などに目を通し、医療関連の最新情報を把握してきたことも自身の知識向上につながっています。

1級はその到達レベルが「医療経営に関する専門知識と実践思考(手法)を有する」となっており、自らを成長させるための良い機会だと考え、自己啓発の一環として受験しました。

今後も二次医療圏を中心とした医療提供体制の動向を注視しながら、製薬メーカーとして何ができるかを考え、医療現場に貢献していきたいと思っています。いままで得た経験・知識をさらにブラッシュアップさせ、研鑽を積み、新たな価値提供につなげていくことが目標です。

## 東北支部SPECIAL研究会

『月刊医療経営士』2019年3月号付き

3/16(土)  
開催!!

# 経営人材育成 中村塾 in 東北

#### 開催概要

- ▶開催日 3月16日(土)15:00~17:30
- ▶会場 PARM-CITY131[宮城県仙台市青葉区一番町3-1-16]
- ▶参加費(税込) 会員:4,000円/一般:8,000円/『月刊医療経営士』定期購読パック:13,000円

#### プログラム

- 第1部 【講演】(15:00~16:30) いま求められる医療経営士の現場力を考える ~企画力・提案力・実践力で病院を変えよう~ 中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事、日本医療経営実践協会参与)
- 第2部 【第7回札幌大会演題発表再現】(16:45~17:00) 新設した経営企画室の取り組みと効果 ~経営のカギは部分最適から全体最適へ~ 小野寺和清氏(医療法人医徳会真壁病院経営企画室長兼医事課長、医療経営士1級)
- 第3部 【質疑応答、交流タイム】(17:00~17:30)

【お問い合わせ先】日本医療経営実践協会東北支部 ☎022-281-8536(担当:浅石)

第6回「医療経営士1級」資格認定試験 狭き門を突破し、11人が合格!

# 1級合格者が語る新年の抱負 医療界に新たな風を巻き起こせ!



初めてのプレゼンで実感した  
多角的な視点をもつことの重要性

いしかわともしる  
**石川智久**さん  
JA茨城県厚生連  
本所 事業推進部  
事務係長

医療を取り巻く環境の大きな変化に対応していくためには、自分自身の知識を向上させなければいけません。学習を通じて得た知識を組織のなかで活かしていくためにも実践力を養いたいと考え、1級にチャレンジすることにしました。

初めて人前でプレゼンする機会となった第二次試験では、聞き手を意識した資料作成に試行錯誤を重ねました。また、説得力のある提案を検討していくなかで、さまざまな角度で物事を考えることの重要性を改めて実感しました。

医療機関の経営においては、全体最適化の視点で物事をとらえ、他部署や他職種と連携しながら、病院・組織全体で最善の選択をすることが重要です。そのための一助となるよう今後も自己研鑽に励み、知識の向上を図る努力を続けていきます。



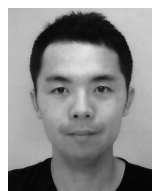
支部研究会で自己研鑽を重ね  
医療関係者や患者さんに貢献する

うえむら しげ たか  
**上村重隆**さん  
武田テバ薬品株式会社  
東京支店 東京第2営業所  
エリアマネージャー

現職では、自治体職員や病院・調剤薬局グループの経営幹部に面会する機会も多く、まずは経営幹部が発信する「言語」を理解するために自己学習を開始しました。3級、2級の資格取得後、経営的な視点に立って提案できるレベルを目指したいと考え、1級にチャレンジしました。

テキストでは、財務諸表、ガバナンス、マネジメントシステムなど、一般企業でも役立つ内容を効率よく学ぶことができます。医療関連企業で働く人もぜひ受験してほしいと思います。

支部研究会等で実務経験豊かな医療機関勤務者とディスカッションできるレベルまで自己研鑽に励み、そこで得た知識・スキルを活かしながら、医療関係者や患者さんの役に立てる仕事につなげていきたいと考えています。



人や組織をどう動かすか  
自らの考察を整理するきっかけに

おおみや けんいち  
**大宮謙一**さん  
医療法人社団藤崎病院  
脳神経外科  
脳外科医長、脳卒中センター長

長年、急性期医療機関において地域医療を第一線で支えて参りました。医療・経済情勢が日々変わりゆくなか、1級資格とそれに裏付けされた知識を持つことが望ましいと考え、受験を決めました。

試験では自らの考えを大局的な観点から論述することが求められます。特定の医療法人をどうマネジメントしていくか、独自の視点からの案をどう具現化していくか、人をどう動かしていくかについて、考察を整理するきっかけになりました。

今後は合格者のコミュニティーに参加して個々の医療機関における成功・失敗事例を共有し、知識の普及に努めたいです。専門である脳外科では、臨床で見落とされがちな正常圧水頭症の啓蒙とマーケティングを行い、手術治療に結びつけるプロジェクトを医療関連企業とコラボして始めます。



地元新潟で医療経営士の  
ネットワークをつくりたい

こがたみ たかふみ  
**小形峰雄**さん  
新潟県立津川病院  
経営課 医事企画員

2級合格で自信を深めることができたと同時に、最上位の1級まで昇りたいという気持ちが強くなり受験を決めました。また、自分のレベルがどの程度なのかを確認できると思い挑戦しました。

今後は1級有資格者として相応しい言動や行動が求められます。この1級資格がよい意味で自分を律するものとして今後も謙虚で前向きに経営課題の解決に取り組んでいきたいと思っています。

病院経営に従事されている方は経営改善の提案を通じて、病院独特の縦割りの組織に横糸を通していく日々模索されていると思います。各医療機関で成果を上げた取り組みや課題解決手法などを医療経営士同士が気軽に相談できるような場やネットワークを地元新潟で作ればと考えております。



病院職員として  
地域社会に貢献したい

おさき はるゆき  
**尾崎治之**さん  
順天堂大学医学部附属静岡病院  
事務部用度課  
課長補佐

地域の医療資源の有効活用が叫ばれるなか、病院職員として何か貢献できることがないかと考えた結果、今まで自分が修得してきた知識だけでは不足していると考え、受験を決めました。

資格取得に向けて勉強した知識は、院外の医療関係者との会合において役立つことがあり、コミュニケーションがとりやすくなりました。これから1級を目指す方には、日常から医療情報を積極的に収集し、自分なりの意見を持ち、努力は裏切らないと信じて頑張っていたらいいと思います。

医療は診療だけでなく、経営という観点からさまざまなアプローチの仕方があるということを多くの医療人に知ってほしいと願っています。今後は、地域社会に対し何かしら貢献できるよう見地を広げられる環境を作っていきたいです。



赤十字病院グループにおける  
よりよい人材育成を目指して

こいしげい じ  
**小西慶二**さん  
日本赤十字社医療センター  
管理局

赤十字病院グループの経営改善推進にかかる研修等の企画・運営に関わっており、医療経営について、自身の知識を深めるとともに、その体系を把握することを目的に、2017年度から医療経営士の資格取得を始め、1級受験に至りました。

第一次試験では、限られた時間のなかで知識を応用して要点を適切にまとめる思考力・アウトプット力が重要だと感じました。第二次試験では、課題解決に向けた医療経営士としての実践力を問う、面接官の方々からの質問が印象的でした。

今後は自身の実践力向上に努めるとともに、医療経営士の資格制度・体系の活用も視野に入れながら、人材育成を推し進めていきたいと思っています。また、医療経営士同士の交流の輪を広げ、共に高め合う関係性を築いていきたいと考えています。

『月刊医療経営士』Presents 医療×経営×未来 ハイブリッドセミナー

3|2|1  
開催!!

## 第2回「薬局マネジメント3.0と 新たな医療環境の創造(仮)」

医療経営の  
フロントランナーが  
登壇!  
未来に向けた  
挑戦を特別披露!!



講師  
**狭間研至氏**  
(ファルメディコ株式会社  
代表取締役社長、  
医療法人嘉健会理事長)

- 開催日時:3月2日(土)14:00~16:00 ●会場:日本医療企画ニッテン3F神田ビルセミナールーム
- 参加費(税込):『月刊医療経営士』定期購読者5,000円/  
医療経営士・医療機関勤務者7,000円/一般10,000円
- 定員:60名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
- 主催:株式会社日本医療企画 ●協力:日本医療経営実践協会関東支部

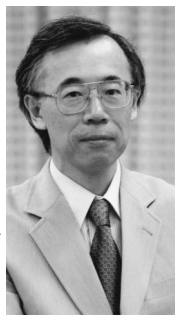


第2回(2019年度)「医療経営に関する研究助成」2月1日(金)より公募スタート

# 新たに懸賞論文「日本医療経営実践賞」を創設 求む! 医療経営士の挑戦者たち

## 選考委員会委員長・尾形裕也氏インタビュー

当協会では、国民に安全な医療の提供を行う基盤を整備するために、医療および経営の研究と実践、現場感覚を備えた人材の育成、「民」主役の医療の確立に資することを目的として、「医療経営に関する研究助成」事業を実施している。2月1日(金)公募開始の第2回(2019年度)研究助成では、新たに懸賞論文「日本医療経営実践賞」を創設。指定課題は「第7次医療計画を踏まえた医療機関経営」と「医療の国際化」に決定した(いずれか1つを選択)。応募案件の審査・選考を行う選考委員会委員長の尾形裕也氏(九州大学名誉教授)に、医療経営士に向けた期待のメッセージなどをうかがった。



おがた・ひろや ●九州大学名誉教授。東京大学工学部・経済学部卒業。1978年厚生省入省。同省各局、OECD事務局、在ジュネーブ日本政府代表部、国立社会保障・人口問題研究所研究部長等を経て、2001年より九州大学大学院医学研究院教授、13年より17年まで東京大学政策ビジョン研究センター特任教授を歴任。

### 現場で役立つ実践的な研究に期待

第1回(18年度)研究助成(指定課題「医師・看護師等の働き方改革」)には、病院の事務職員や医師、大学教授、医療機関専門の採用支援企業の方など総勢20人から応募があり、研究助成の趣旨に合った研究計画が多数出てきました。採用された10人の方はいずれも着眼点がすばらしく、第8回「全国医療経営士実践研究大会」仙台大会における最終報告に向けて、それぞれの研究テーマを深掘りし、現場で役立つ実践的な提言につなげてほしいと期待しています。

医療経営士をはじめ、現場の課題解決に取り組んでいる方々は、常に問題意識をお持ちだと思います。そこから生まれた気づきや新たな発想などを検証し、形あるものにまとめることは

非常に有意義で、それは個人の成長につながるだけでなく、自身の考えを多くの方に知ってもらう機会にもなります。医療経営士の皆さんには、ぜひ積極的にチャレンジしていただきたいと思っています。

### 第2回の指定課題は医療計画と医療の国際化

2月1日(金)公募開始の第2回研究助成の指定課題研究では、「第7次医療計画を踏まえた医療機関経営」と「医療の国際化」という2つの指定課題を設けました。どちらも重要かつタイムリーな課題ではありますが、いずれか1つを選び応募していただきます。

医療計画は、医療機関が中長期の経営戦略を策定するうえで、大前提となるものです。18年度にスタートした第7次医療計画では、介護保険事業(支援)計画との整合性を確保する観点

ていくかといった視点も重要です。グローバル化により経済・産業が大きな変容を遂げているなか、医療も例外ではありません。そういう意味では研究のしがいがある大きなテーマであると言えます。

### 新たに賞金100万円の懸賞論文を創設!

第2回研究助成の大きな変更点は、懸賞論文「日本医療経営実践賞」の創設です。これは、「日本の医療経営における現場の実態を踏まえたうえで、これからの医療を考え、提言する」という視点から、自らの興味・関心に従って論題を設定し、実践的な取り組み等を論文としてまとめるというものです。課題があらかじめ設定された指定課題研究と自由に設定できる懸賞論文の二本立てにしたほうが、医療経営士の皆さんが挑戦する機会を増やせると考えました。

審査・選考では、医療現場における実践的な取り組みを重視しますが、現場の実践を経たうえで、マクロな視点に立って政策提言するような論文があってもよいでしょう。意欲的な論文が数多く届くことを心待ちにしています。

助成総額上限1,000万円! 2月1日より公募スタート

## 第2回(2019年度)「医療経営に関する研究助成」案件募集

### 1 懸賞論文「日本医療経営実践賞」

【公募締切】5月10日(当日消印有効)

- ▶ 募集内容 医療経営に関する論文でテーマは自由とする  
※懸賞論文と指定課題研究の両方に応募することは可能だが、指定課題研究と同一テーマで応募することは不可
- ▶ 対象者 医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- ▶ 懸賞金額 優秀な論文を表彰し、併せて賞金100万円を授与する

### 2 指定課題研究

【公募締切】3月31日

- ▶ 募集内容 ①第7次医療計画を踏まえた医療機関経営 ②医療の国際化  
※①②いずれか1つの課題を選択。同時応募は不可
- ▶ 対象者 医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ
- ▶ 助成金額 1件当たり50万円~250万円を予定(件数未定)  
※指定課題研究助成と懸賞論文とを合わせて総額1,000万円を上限とする
- ▶ 助成研究期間 原則1年間(2019年6月1日~2020年5月31日)

【申請方法・詳細】必ず専用ホームページ(<http://www.jmmpa.jp/grant>)をご確認ください 【審査・選考】選考委員会において公正かつ慎重に審査し、採否を決定します

【お問い合わせ先】 一般社団法人日本医療経営実践協会「研究助成事務局」 ☎03-5296-1933